

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 びーす浜田		公表日		2025年1月9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		スペースは十分確保している	現状通り安全なスペースを維持していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基準人員を配置している。	人員基準を遵守し、有資格者も配置しているが、体調不良等で職員の休みが重なった場合を考えると職員の増員が望ましいと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		室内はバリアフリーで整備している。 ワンフロアで見渡せる環境である。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清潔には常に心掛けており玩具や床等の消毒は徹底している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		ワンフロアになっており仕切りがないため個別の部屋がない。手作りで仕切りを作成している。	今の仕切りが適切かは都度考えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員間で取り組んでいる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		連絡帳や送迎時等を利用して常に保護者の声を聴くようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		利用者がいない時間帯にこまめに意見交換している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による評価は受けていない。	必要と思われる場合は、今後考えていく。質の良いサービス提供と向上は常に図っていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。		<input type="radio"/>	事業所内で研修を実施している。 外部研修も出来るだけ参加できるようにする。	今後も研修で職員一人一人の意識を向上していく。外部研修参加があまりできていない。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		計画書に基づき支援プログラムを提供している。連絡帳や送迎時にお伝えしている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		6か月毎にアセスメントを行い、ニーズや課題を会議において職員全員で話し合い計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援会議で利用者の支援項目を把握し目標達成できるように検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画書は職員間で共有したうえで支援している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		利用者の状況が分かる資料の提示があった場合は確認し参考にしている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		支援計画に掲載している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		利用者のいない時間を利用して、個別と集団でのプログラムを立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		日替わりで担当者を決めて固定化しないようにしている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		興味をもって取り組めるようなプログラムを取り入れている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		担当者が日案を作成掲示し、役割分担を共有している。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		送迎後、その日気付いた点などを含め振り返りを行っている。		

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の経過支援記録・専門的支援経過記録を記入する際に、職員間で必ず共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度モニタリングを行い、子どもの様子を共有する以外に、必要に応じて面談を行い適切な見直しを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		担当者が日案を作成掲示し、役割分担を共有している。	地域の保健センターなどとはつながっているが、他機関とも必要に応じてつながっていくようにする。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		送迎時の情報共有以外に、必要に応じて電話などで相互理解を図っている。	現在のやり方を継続し、引き続き情報共有につとめていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		スムーズに就学出来るよう、支援状況、様子を情報提供を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		現在実施できていないので、今後検討していく
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在実施できていないので、今後実施していく方向で話し合いをすすめている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時等を利用して常に保護者の声を聴くようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援として、訪問面談を行っている。連絡帳や送迎時に情報共有し、必要に応じて助言を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、変更時には必ず説明を行っている。個別支援計画、専門計画の更新時にプログラム・療育の内容を説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に一度モニタリングを行い、保護者の意見を聴くとともに、本人の意思を聞き取れる利用者には意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		半年に一度、モニタリングを行った結果を支援計画に反映し、署名同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		半年に一度、モニタリングで面談の場を設け必要な助言、支援を行っている。他にもいつでも相談を受け付けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在実施できていないので、今後実施していく方向で話し合いをすすめている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		何かあれば、いつでも連絡できるよう保護者に伝えている。相談を受けた際には、迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月通信を発行し、SNSを活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫にて保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡帳や送迎時以外に、電話等で情報伝達できるようにしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		○		現在実施できていないので、今後実施していく方向で話し合いをすすめている

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し、定期的に訓練で確認している。訓練を行った際は、連絡帳や口頭で保護者に伝えている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		感染症及び災害時のBCPを策定し、研修訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に細かく保護者から聞き取りを行っている。サポートブックへの記入をお願いしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	医師の指示が必要な利用者は現在いないが、保護者に確認を行い、サポートブックに記入をお願いしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		通信や連絡帳で周知している。	更なる周知を目指して、通信内容を充実させる。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、職員間で事例検討を行い、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に2回の研修を行い、他事業所の事例などを用いて検証を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				